

2006 年度 委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 15 日作成)

委員会名	地球環境・構造小委員会	主 査 名：稲田 達夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：岩田 衛
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本委員会は建築構造の立場から地球環境への取組みを検討する。設計段階で設定する物理的・社会的寿命の各段階に対して、建築材料、構造部材、架構などの選定がどのような環境負荷を与えるか等の検討を通し、今後の建築構造の在り方を考察する。	
委員構成 (委員名(所属))	稲田達夫(地所設計) 朝山秀一(電機大) 稲田泰夫(大崎研) 大越俊男(日本設計) 大谷恭弘(神戸大) 加倉井正昭(東京ソイル) 坂本真一(清水建設) 高田毅(東大) 田村和夫(清水建設) 田中享二(東工大) 滝口克己(東工大) 西村功(武蔵工大) 橋本康則(大林組) 平川倫生(地所設計)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2005 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会開催回数(6回)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1)計画： 前年度までの成果を踏まえ、特に重要と思われる事項について、問題の掘り下げを行う。必要に応じ、関係専門委員会からゲストを招き、意見交換等を行う。 成果： 2名のゲストを招き意見交換等を行った。 2)計画： 昨年度原案を作成した「良質な社会ストック形成のための建築構造性能評価手法」プロトタイプをブラッシュアップする。 成果：今年度大会で「社会ニーズと構造」というテーマでPDを開催し、この問題についての議論を十分に深めることができた。
	公開等：2006年度大会でPD資料を作成、活動内容を公開した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) これまでの活動の反省と、今後のテーマ設定について、十分な議論を行い、結果として、当初の目的を達成することができた。また、その内容について、大会PDなどで十分な議論を行えたことは、有意義であったと思っている。 (自己採点80点)
その他評価すべき事項	建築会館をテーマに、評価システムの試行を開始する等、今後の活動についても、明確な方向性を示すことができた。